

審議会等の概要や会議録

 [審議会等の概要調書](#)

## 会議録及び会議資料

### 静岡県森の力再生事業評価委員会

- 開催日 平成31年2月6日(水)
- 場所 静岡市葵区追手町9-6 県庁階 会議室  
静岡県経済産業会館3階特別会議室
- 出席者（職・氏名）  
委員長 土屋智（静岡大学名誉教授）  
委員長代理 小南陽亮（静岡大学教育学部教授）  
委員 五味響子（しずおか流域ネットワーク）  
委員 豊田和子（一般社団法人静岡県法人会連合会）  
委員 中村昭夫（一般財団法人静岡経済研究所常務理事）  
委員 波多野初枝（静岡県消費者団体連盟）  
委員 松永祐司（静岡県中小企業団体中央会）
- 議題 検証・評価結果（案）の検討
- 配布資料  
次第:  (115KB)  
平成27年度整備箇所及び平成26年度以前の整備箇所のうち 経過観察・再整備箇所の下層植生回復等の状況:  (115KB)  
平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況（整備後3年目の状況）一覧表:  (352KB)  
平成26年度以前の森の力再生事業整備箇所のうち、経過を調査した箇所の状況一覧表:  (122KB)  
評価・検証結果（案）:  (104KB)

#### 【審議事項】

検証・評価結果（案）の検討

#### 【審議内容】

詳細:  (152KB)

#### お問い合わせ

経営管理部総務局法務課  
静岡市葵区追手町9-6  
電話番号：054-221-3306  
ファックス番号：054-221-2099  
メール：[houmu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:houmu@pref.shizuoka.lg.jp)

平成30年度 第3回 静岡県森の力再生事業評価委員会 議事録

日時：平成31年2月6日（水）

15:15～16:15

場所：静岡県産業経済会館特別会議室

（水口 経済産業部管理局産業政策課長）

定刻となりました。ただいまから、平成30年度第3回静岡県森の力再生事業評価委員会を開催いたします。

初めに、急遽本日開催になりました中で御出席いただきましたこと、誠にありがとうございます。1月25日は有識者会議という形で議論いただいたところでございます。本日の委員会では、事業の評価、提言につきまして、先般の25日に御議論いただいた内容も踏まえながら、委員の皆様にご審議いただき、取りまとめをいただければと思っております。

本日の委員の出席状況でございますけれども、現在5名の方の御出席となっておりますが、中村委員と五味委員が遅れての参加いたしますので、過半数を超え、静岡県森の力再生事業評価委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づきまして、委員会は成立いたします。御出席いただく中で成立するという形になりますので、よろしく申し上げます。

初めに、経済産業部農林水産戦略監の芦川より御挨拶を申し上げます。

（芦川 経済産業部農林水産戦略監）

日ごろお世話になっております。1月25日に開催いたしました委員会を有識者会議とさせていただきます。今回を第3回にするということで、御審議いただきたいと思っております。

前回の会合の中では、整備後3年目の下層植生の回復の状況の報告をさせていただき、提言の内容について御議論いただきました。その内容を踏まえまして、本日は事業の評価と、今後の事業の提言の取りまとめを改めて御審議いただきたいと思っております。

簡単ですが、御挨拶にかえさせていただきます。よろしく申し上げます。

（水口 産業政策課長）

本日の議事についての御説明をさせていただきます。

検証・評価結果の案につきましては、私どもの説明に基づき御審議いただき、取りまとめをしていただきます。なお、検証・評価結果（案）の御審議に当たりましては、先ほども少しお話し申し上げたとおり、先日の有識者会合にて御報告いたしました整備完了後3年以上経過した箇所の下層植生の回復状況につきましては、概要を御説明させていただきます。

次に、議事内容の公表についてです。本委員会は、県の情報提供の推進に関する要項に基づく公開対象になっております。本日の議事内容は、これまでと同様、録音し、議事録を作成いたしたいと考えております。後日、委員の皆様にご確認いただいた上で、県のホームページにて公開いたしますので、御承知おきいただければと存じます。

それでは、今後の議事の進行につきましては、土屋委員長にお願いいたします。

(土屋委員長)

委員の皆様は、きょうは天候も悪くて、雨が降りそうな、雪が降りそうなところだったんですけども、出席いただきありがとうございます

議事は、検証・評価結果のところ、最終報告といえますか、経済産業部長宛てに評価結果及び事業の提言の内容の最終検討をしていただくこととなっております。

前回でおおむね議論は済んでおりますが、またここで再度検討いただいて、細かいところも含めて御指摘いただいて、忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。

それでは、議事に入りたいと思っております。

まず初めに、整備完了後3年以上経過した箇所の下層植生の回復状況について、事務局より概要の説明をお願いします。

(遠藤 森林計画課森の力再生班長)

森林計画課の遠藤です。よろしくお願いします。本日、検証・評価結果の検討をしていただく中で、評価の対象となっている資料1について説明をさせていただきます。

3ページからの資料1を御覧ください。平成27年度整備箇所及び平成26年度以前の整備箇所のうち、経過観察・再整備箇所の下層植生回復等の状況について説明させていただきます。

先に5ページを御覧ください。調査の方法と評価の方法を御説明いたします。

調査は、本事業による整備効果を確認するため、すべての整備箇所で行います。調査報告者は権利者及び整備者です。調査時期は整備後3年を経過する年度の6月から8月までです。また、経過観察とした箇所は、4年目以降の同じ時期に行います。調査箇所では、5m四方の調査プロットを設置します。調査方法は、このプロットを用いて、下層植生が地表を覆っている割合、これを植被率といいますが、植被率を目視で調査します。また、シカ等の獣害の有無など、周辺の状況を確認します。

評価方法は、5ページの5の(1)の表のとおり、調査プロットごとに植被率が20%を超えるをA、10%を超え20%以下をB、10%以下をCと評価します。植生の回復状況の評価は、調査プロットの中で最も数が多い植被率の評価とし、5の(3)の表のとおり、Aが多い場合は、順調に回復している、Bが多い場合は、今後回復が見込める、Cが多い場合は、回復が見込めないとします。なお、最も多い植被率の評価がAであっても、BとCの評価数がAの評価数と同数以上である場合は、周辺の状況や下層植生に影響を与えている要因などを踏まえて、総合的に判断いたします。(五味委員、中村委員入室)

すみません、戻っていただいて、資料の3ページを御覧ください。1、平成27年度森の力再生事業整備箇所についてです。(1)の調査結果の表のとおり、箇所数は189カ所、このうち下層植生が順調に回復していると評価できたのは、全体の97.4%の184カ所、今後下層植生の回復が見込めるは2.6%の5カ所、現状では下層植生の回復が見込めないはありませんでした。

(2)の表のとおり、今後下層植生の回復が見込めるとした5カ所のうち1カ所が賀茂で2.49ha、あと中部農林事務所管内に4カ所69.54haあります。

(3)今後の対応ですけれども、今後下層植生の回復が見込めるとしたこの5カ所については、経過観察としたいと考えております。これらは後ろに付いています6ページから11ページの横長の一覧表で、行をオレンジ色に着色した箇所になります。6ページに1カ所、8ページに4カ所ございます。これらを経過観察とした理由ですけれども、6ページのNo.11、松崎町の整備地では、斜面が北西向きで日が当たる時間が短く、シカの獣害も確認されたことから、これが遅れた要因と考えられますが、

樹冠の開空度は確保されており、サカキやヤブニッケイなど、シカの食害を受けにくい樹種の侵入が確認できたことから、時間はかかるものの、今後回復が見込めると判断しました。

また8ページの静岡市の4カ所につきましては、標高が高いことが遅れた要因と考えられますが、樹冠の開空度は確保されていることから、時間はかかるものの、今後回復が見込めると判断しました。これら5カ所は来年度再調査し、評価委員会で御報告いたします。

次に4ページにお戻りください、平成26年度以前の整備箇所のうち、経過を調査した箇所です。2の(1)の表のとおり8カ所あります。これらは平成27年度に再整備した箇所や、昨年度以前の評価で、今後下層植生の回復が見込めるとし、今後の対応を経過観察としていた箇所であり、本年度も再度調査をいたしました。結果は、下層植生が順調に回復しているのは7カ所、今後回復が見込めるのは1カ所でした。

(2)の表のとおり、今後回復が見込める1カ所は、中部農林事務所管内の整備地です。この1カ所の(3)今後の対応につきましては、経過観察としたいと考えております。

12ページの一覧表が平成26年度以前の整備箇所の一覧で、8カ所ございます。このうちオレンジ色で着色したのが、経過観察としたものです。経過観察とした理由ですけれども、標高が800m以上と高いことが遅れた要因と考えられますが、樹冠の開空度は確保されており、時間はかかるものの、今後回復が見込めると判断しました。こちらも来年度調査し、御報告いたします。

お配りした資料のうち、別冊になっておりますものがこれらの詳細資料になります。本日は時間の御都合もありますので、この中から2カ所だけ、調査状況を御報告いたします。

1-14ページを御覧ください。こちらが今後回復が見込めるとした箇所です。平成27年度に整備した、右上のNo.が84となっているものです。所在地は静岡市葵区崩野で、18.2haのスギ・ヒノキ人工林を対象に45%の伐採率で強度の間伐である環境伐を行った箇所です。昨年6月に調査した結果、下層植生の植被率は全10カ所のプロットのうち、Cが4カ所、Bが6カ所、Aはありませんでした。下層植生の遅れに影響を与えている要因は、標高が950mから1,200mと高いことであると思われる。写真はBと判定したNo.1プロットで、左上が整備前、右上が整備直後、左下が整備後3年経過した状況、右下が樹冠と樹冠の隙間、これを開空度といますが、その状況です。

5、下層植生の回復状況（総合判定）は、最も数が多い評価がBであったことから、今後回復が見込めるとしました。全体的に植生の回復は遅いですが、開空度が確保されており、シカの食害痕や土壌流出は確認されていないことから、時間は要しますが今後回復が見込まれるので、今後の対応を経過観察するといたしました。

次に、飛びまして1-34ページを御覧ください。こちらが平成24年度に整備した箇所、No.196です。所在地は静岡市葵区崩野で21.01haのスギ・ヒノキ人工林を40%の伐採率で環境伐を行いました。整備から3年が経過した平成27年に調査を行いました。下層植生の回復が遅れていたことから経過観察とし、昨年8月に再調査を行いました。植被率は全10カ所のプロットのうち、すべてがBでした。写真はNo.1のプロットで、左上が整備前、右上が整備直後、真ん中の段の左側が平成27年に調査したときの下層植生の状況です。中段の右が整備後6年経過した昨年の状況です。左下が別のプロットの昨年の状況、右下が開空度です。総合判定はすべてのプロットがBであったことから、今後回復が見込めるとしました。今後の対策は経過観察するとしました。

以上が別冊の詳細資料の説明です。

なお、これら資料1の説明を25日の会議で説明したときに、委員から次のような2つの意見をいただきました。1つは、資料の中で標高を比較できるよう、一覧表のすべての箇所に標高を記載する

方がよい。もう1つが、下層植生の名称をシカが食べない種類だけでも記載すると、状況がわかりやすいと意見をいただきました。これらにつきましては、今後改善してまいります。

以上で資料1の説明を終わります。

(土屋委員長)

資料1の説明が済みしましたので、ここで御意見等をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。前回は議論は行っていますが、そのほか何かあればと思いますが、よろしいでしょうか。

付け加えていただくような要望もありましたので、先ほど紹介ありましたが、またそれは引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、検証・評価結果(案)の検討について事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(事務局)

お手元の資料2を御覧ください。

本案は、1月25日の会議にて内容を御確認していただいております。その際、3番、来年度の事業の実施に向けての提言の(5)につきまして、情報発信する対象をわかりやすくした方がよいのではという御意見をいただきましたので、ここに「情報発信」の前に「県民に対し」という文言を追記させていただきます。

また、第2回委員会及び現地調査の際に、竹林を伐採した際に、スギなどの残存木がまばらに残ってしまい、風倒の危険があるということについて御意見をいただきました。このことにつきましては、お手元にお配りしております1月28日付の通知文「残存木による周囲への被害防止」のとおり、農林事務所に整備者への指導を徹底するよう通知いたしております。

それでは、資料2につきまして、順番に説明させていただきます。

まず1番目、新規の事業実施状況としまして、平成29年度に整備した145カ所のうち、選定した22カ所について、第2回評価委員会にて詳細に検証していただきました。その内容を踏まえまして、事務局にて案文を作成しております。

2番目に、先ほど御説明しました平成27年度に事業を実施した箇所の森林の回復状況ということで、事務局にて案文を作成しております。これらの案文につきましては、昨年度までに評価委員の皆様からいただいた文案を参考に作成しております。

次に3といたしまして、来年度事業に向けた提言を、これまでに皆様からいただきました御意見を参考に、5つの項目に整理しております。1つ目といたしましては、他の施策、市町との連携や、民間との協働について、第2回評価委員会におきまして、観光協会や地元自治会との協働について報告をさせていただきました。そこで一定の評価をいただきましたので、引き続き実施するよう、このように整理いたしました。

2つ目といたしましては、整備箇所周辺への事業PRによる整備の拡大につきまして、事業を周辺にも広げて事業量を確保してほしいとの御意見をいただきましたので、このような文案に整理いたしました。

3つ目といたしましては、木材や竹材の利活用につきまして、現地調査にて切り出した竹材を防潮堤の防風垣に利用している状況を御確認いただきました。その際、一定の評価をいただきましたので、昨年に引き続きこのように整理いたしました。

4つ目といたしましては、事業者間での情報交換について、発表会等の開催を検討してほしいとの御意見をいただきましたので、このような文案に整理いたしました。

5つ目といたしましては、県民への広報につきまして、幅広い世代に伝わるような工夫が必要との御意見、また広報看板について、効果的な設置を検討すべきとの御意見をいただきましたので、このような文案に整理いたしました。

最後に、次のページに参考2として、平成27年度から29年度までの提言内容についてまとめてございますので、参考にいただければと思います。説明は以上です。

(土屋委員長)

確認をいただいて、この構成に沿って、それぞれ事業に対する提言について御意見をいただきたいと思っております。入る前に何か御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

1番からいきます。「新規の事業実施状況」ということで、評価結果としましては、ここにありますように、「平成29年度に実施した事業の執行状況について検証した結果、いずれも適正に執行されており、事業目的にかなう効果が期待できると評価します。」という原案どおりの報告をしたいと思っておりますけれども、これについていかがでしょうか。御意見よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

2番目の「整備が終わった森林の回復状況等」というふうなことでございますが、まずは(1)は、評価対象としては、これだけのものをしたというふうなことでございます。これに対する評価結果は、「整備が完了して3年目以降の箇所の下層植生の回復状況等について検証した結果、計画どおりの効果が期待できる事業であると判断します。」という文言でございますが、これについては何か御意見ございますでしょうか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは次の3番目、「来年度の事業の実施に向けての提言」というところで5項目ございますが、これにつきましても順番にお伺いしたいと思います。

まずは(1)ですが、「事業の効果が最大限の発揮されるよう、他の関連施策・市町との連携や、民間との協働を進めてください。」、これについては何か御意見ございますでしょうか。このとおりでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

わかりました。それでは次にいきます。(2)としましては、「整備が終わった箇所周辺の森林の権利者にも事業のPRを行うなど、整備が地域に広がるよう努めてください。」、これも何か御意見ございますでしょうか。

(豊田委員)

確認でございますが、これは整備そのものが地域に広がるということですね、整備拡大ですので。整備しているというPRではなくて、これを1つのモデルのような形で、周りの地域に森林整備がスムーズに進んでいくようにPRしていきますと。

(土屋委員長)

そうですね、事業のものも含めてというふうなことになるかと思っております。

(事務局)

おっしゃるとおりでございます。

(土屋委員長)

大丈夫ですね。よろしいでしょうか、そういうことで。そのように伝わるとお思いますので、よろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

それでは3番目ですが、「伐採した木材や竹材の利活用に引き続き努めてください。」これについてはいかかでしょうか。このとおりでよろしいでしょうか

(「異議なし」の声あり)

それでは4番目、「事例発表会の開催など、事業者間の情報交換の場を作り、事業者全体の技術力向上に努めてください。」ということでございますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは最後でございますが5番目、「納税への理解が一層促進されるよう、県民に対し情報発信に取り組むとともに、広報看板については、効果を最大限に発揮できるよう設置方法を検討してください。」ということでございますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(五味委員)

「設置の方法」だけで良いでしょうか。

(土屋委員長)

そうですね、設置方法「等」の方が良いでしょうか。

(五味委員)

「設置の方法」だけではなくて、看板の内容など、そういうことも含んだ方がいいと思いますね。

(土屋委員長)

よろしいでしょうか「等」を入れていただきたいとお思いますので、「発揮できるよう設置方法等を検討してください」ということでお願いしたいとお思います。

案につきましては、3の項目の(5)番目のところで若干文字が入ることになります。

また、もし何かお気づきの点があれば御一報を事務局にいただいて、字句の修正等につきましては、そのときに事務局で対応というふうなことになるとお思います。それは委員長と事務局で御一任をいただくということを進めたいとお思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ということで、事務局では、この原案をまたもう一度つくっていただきまして、修正をしていただいて、修正したものを明日2月7日、私の方から経済産業部長に報告をしたいとお思います。御承知おきをお願いしたいとお思います。

議事についてはこれで終了ということになりますが、今回の委員会で本年度終了となりますので、今までの評価委員会も含めて、また来年に向けて何か御意見等ございますでしょうか。

(五味委員)

私は3月2日土曜日に、今度中部横断自動車道が開通するところの樽峠トンネルのあたりまで、国交省の方に連れて行っていただきまして、視察に行っていました。

自分で運転していたら、そんな余裕はないと思うんですけど、今回はほかの方の車で連れて行っていただいたものですから、周りをキョロキョロ見回していましたら、現在の人工林の状況、清水の奥の方もかなり荒れている森林があるということを見ました。

昔の方々はこんなところまで植林したんだなという感心の念とともに、その後の整備がやっぱり行き届いてない箇所というのもしっかり見かけられましたし、災害の激甚化の影響もあるのでしょうか。かなりたくさん木が倒れて、お互いに引っかかっているような様子も、まだ残っていて、それが道路から見える状況のところにもあるというのが、すごくショックでした。

この森の力再生事業がさらに充実して、各地の奥の方まで整備が行き届き先人が苦勞なかって植林をした箇所を守っていくというのが、私たち現代、そして未来の人々の役目だなというのをつくづく感じて帰ってきたところです。さらにこの事業がうまくいきますように、と思います。

(土屋委員長)

ほかには何かございますか。

(豊田委員)

先ほどの提言のところの利活用についてです。

「伐採した木材や竹材を利活用に引き続き努めてください。」ということで、去年と同じ文言なんですけど、この1年、ニュースなどを拝見していると、いろいろな団体でも自発的にこういう間伐材とかを利用して、何かをしているという団体なり、NPO法人のようなニュースも多いと思います。

そのような中で、この「木材や竹材の利活用に」なんですけど、それは森の力再生事業として利活用に引き続き努めるということもあると思うんですが、ここを「利活用について」といいますと、自分たちがやる、プラス、やろうとする意思のある方と連携してやるという、両方が含まれる形になるかなと思ったのですが。

(土屋委員長)

この事業のPRも含めて、という意味も含んでいるとは思いますが、事務局から説明願います。

(事務局)

委員御指摘のとおり、利活用は私どもだけやるということではなく、いろいろ広く事業者さんも含めて利活用をさらに進めていくということでございます。私どもも努力するし、皆も努力するという意味に含めるということだと思いますので、その「ついて」ということで、さらなる促進が進むということであれば、それの方がよろしいかと思えます。

(土屋委員長)

より具体化がされるというか、「について」ということで、より焦点がはっきりするかなというふうなところがありますので、よろしいのではないのでしょうか。「について」でいきたいと思えます。ありがとうございました。

それでは、議事としては終了となりますので、進行を事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

(水口 産業政策課長)

委員長、ありがとうございました。最後に、経済産業部の農林水産戦略監芦川より閉会に当たっての御挨拶を申し上げます。

(芦川 経済産業部農林水産戦略監)

3回にわたって御審議いただき、ありがとうございました。御意見を伺った意見は重く受けとめて対応したいと思っております。特に最後の方の提言の3番目の来年度の事業に向けての提言で、5点について、より具体的に動かないと意味がありませんので、それを意識しながら今後対応してまいります。

また、委員長におかれましては明日、経済産業部長に評価結果の報告と提言の提出をよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

(水口 産業政策課長)

それでは、以上をもちまして評価委員会を閉会させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

# 平成 30 年度 第 3 回静岡県森の力再生事業評価委員会

日時：平成 31 年 2 月 6 日（水）

15 時 15 分～16 時 15 分

会場：静岡県産業経済会館特別会議室

## 次 第

1 開 会

2 議 事

検証・評価結果（案）の検討

3 閉 会

### 配布資料

資料 1	平成 27 年度森の力再生事業整備箇所及び平成 26 年度以前の整備箇所のうち経過を調査した箇所の回復等の状況
資料 2	検証・評価結果（案）
参考 1	森の力再生事業評価委員会提言内容
参考 2	静岡県森の力再生事業評価委員会設置要綱

## 1 静岡県森の力再生事業評価委員会 委員名簿（敬称略）

区 分	所属及び役職等	氏 名	出席
委員 長	静岡大学名誉教授	つちや さとし 土屋 智	○
委員長代理	静岡大学教育学部教授	こみなみ ようすけ 小南 陽亮	○
委 員	常葉大学大学院環境防災研究科准教授	あさみ かよ 浅見 佳世	×
	きむら工房代表	きむら みほ 木村 美穂	×
	しずおか流域ネットワーク	ごみ きょうこ 五味 響子	○
	社団法人静岡県法人会連合会	とよだ よりこ 豊田 和子	○
	一般社団法人静岡経済研究所常務理事	なかむら あきお 中村 昭夫	○
	静岡県消費者団体連盟	はたの はつえ 波多野 初枝	○
	静岡県弁護士会	はらだ けんいち 原田 健一	×
静岡県中小企業団体中央会	まつなが ゆうじ 松永 祐司	○	

## 2 静岡県森の力再生事業評価委員会 県出席者

所属	職	氏 名
経済産業部	農林水産戦略監	芦川 敏洋
産業政策課	産業政策課長	水口 秀樹
	産業政策班長	櫻井 剛
	産業政策班主査	光本 智加良
森林計画課	技監	大石 剛
	森の力再生班長	遠藤 淳
	森の力再生班技師	秋元 順成

### 3 座席表



	光本 産業 政策課 主査	櫻井 産業 政策課 班長	水口 産業 政策 課長	芦川 農林 水産 戦略監	大石 森林 計画課 技監	遠藤 森林 計画課 班長	秋元 森林 計画課 主査	
--	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--

傍聴席 (10)

受付

出入口

平成 27 年度整備箇所及び平成 26 年度以前の整備箇所のうち  
経過観察・再整備箇所の下層植生回復等の状況

(経済産業部森林・林業局森林計画課)

1 平成 27 年度森の力再生事業整備箇所

(1) 調査結果

区分	計	下層植生の回復状況		
		下層植生が順調に回復している	今後、下層植生の回復が見込める	現状では、下層植生の回復が見込めない
箇所数	189 (100%)	184 (97.4%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)
面積 (ha)	1,532.62 (100%)	1,460.59 (95.3%)	72.03 (4.7%)	0 (0.0%)

(2) 事務所ごとの回復状況

農林事務所	整備面積 (ha)	下層植生の回復状況		
		下層植生が順調に回復している	今後、下層植生の回復が見込める	現状では、下層植生の回復が見込めない
賀茂	78.64	76.15	2.49	0
東部	247.05	247.05	0	0
富士	92.58	92.58	0	0
中部	274.80	205.26	69.54	0
志太榛原	280.73	280.73	0	0
中遠	275.97	275.97	0	0
西部	3.03	3.03	0	0
西部(天竜)	279.82	279.82	0	0
合計	1,532.62 (100%)	1,460.59 (97.1%)	72.03 (2.9%)	0 (0.0%)

※No.96 の再整備分は除外 (H26 以前の整備箇所の調査に計上している。)

※No.72 は台風 24 号被害で H30 再整備予定だが、植生が順調に回復しているため計上している。

(3) 今後の対応

- ・「今後、下層植生の回復が見込める」5箇所については、経過観察とする。

## 2 平成 26 年度以前の整備箇所のうち経過を調査した箇所

### (1) 調査結果

区分	計	下層植生の回復状況		
		下層植生が順調に回復している	今後、下層植生の回復が見込める	現状では、下層植生の回復が見込めない
箇所数	8 (100%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
面積 (ha)	71.85 (100%)	50.84 (70.8%)	21.01 (29.2%)	0 (0.0%)

### (2) 事務所ごとの回復状況

農林事務所	整備面積 (ha)	下層植生の回復状況		
		下層植生が順調に回復している	今後、下層植生の回復が見込める	現状では、下層植生の回復が見込めない
賀茂	0	0	0	0
東部	16.52	16.52	0	0
富士	0	0	0	0
中部	49.42	28.41	21.01	0
志太榛原	5.91	5.91	0	0
中遠	0	0	0	0
西部	0	0	0	0
西部(天竜)	0	0	0	0
合計	71.85 (100%)	50.84 (70.8%)	21.01 (29.2%)	0 (0.0%)

### (3) 今後の対応

- ・「今後、下層植生の回復が見込める」1箇所については、経過観察とする。

平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況(整備後3年目の状況)一覧表

No	農林	所在地		整備者区分(※)	整備手法			面積(ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い評価	下層植生の発生遅れに影響を与えている要因の有無				下層植生回復状況(総合判定)	備考	詳細資料ページ	
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	C		A				シカ等の獣害	標高	土壌侵食	光環境				
										~10%	10%~20%	20%~40%	40%~60%	60%~80%									80%~
1	賀茂	下田市	須原	林	○			4.63	6		1	4	1			A					下層植生が順調に回復している		
2		下田市	須原	林			○	0.59	1				1			A					下層植生が順調に回復している		
3		賀茂郡南伊豆町	蛇石	林	○			7.98	8			2	1	4	1	A					下層植生が順調に回復している		
4		下田市	中	林	○		○	4.21	4			2			2	A					下層植生が順調に回復している		1-1
5		賀茂郡西伊豆町	一色	林	○			18.27	11			4	3	1	3	A					下層植生が順調に回復している		
6		賀茂郡西伊豆町	宇久須	森	○			7.79	7			3	1	3		A					下層植生が順調に回復している		
7		賀茂郡西伊豆町	一色	林	○			20.91	12			2	4	2	3	A					下層植生が順調に回復している		1-2
8		下田市	吉佐美	団			○	1.27	2						2	A					下層植生が順調に回復している		
9		賀茂郡松崎町	石部	林			○	0.23	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
10		賀茂郡松崎町	船田	林	○			1.22	1			1				A					下層植生が順調に回復している		
11		賀茂郡松崎町	南郷	林	○			2.49	3		2	1				B	有				今後、下層植生の回復が見込める	日照時間が短く植生回復が遅れている。	1-3
12		賀茂郡河津町	峰	林	○			4.49	6			5	1			A					下層植生が順調に回復している		
13		下田市	落合	林	○			3.55	4			4				A					下層植生が順調に回復している		
14		下田市	吉佐美	林			○	0.50	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
15		下田市	吉佐美	団			○	0.51	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
16	東部	伊豆の国市	寺家	林		○	0.92	1						1	A					下層植生が順調に回復している			
17		沼津市	西沢田	森			○	0.12	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
18		長泉町	下長窪	森			○	0.69	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
19		伊豆の国市	北江間	林			○	0.89	2						2	A					下層植生が順調に回復している		
20		伊豆市	大平	林	○			7.80	8					2	6	A					下層植生が順調に回復している		
21		伊豆市	大平	林	○			3.90	4					4		A					下層植生が順調に回復している		
22		伊豆市	冷川	林			○	1.69	2						2	A					下層植生が順調に回復している		
23		伊東市	宇佐美	造			○	1.60	2			1			1	A					下層植生が順調に回復している		1-4
24		三島市	佐野	団	○			10.86	10			2	1	7		A					下層植生が順調に回復している		
25		伊豆市	堀切	森	○			8.14	8		2	1	1	1	3	A					下層植生が順調に回復している		
26		伊豆の国市	南條	造			○	0.90	1					1		A					下層植生が順調に回復している		
27		伊豆市	修善寺	森	○	○		6.76	7		1	2	2		2	A					下層植生が順調に回復している		
28		伊豆市	持越	林	○	○		13.99	10		4	2	4			A					下層植生が順調に回復している		
29		三島市	沢地	団			○	1.17	1			1				A					下層植生が順調に回復している		1-5
30		伊東市	宇佐美	造			○	0.78	1			1				A					下層植生が順調に回復している		
31		伊豆市	城	森	○			12.45	10		4	2		1	3	A					下層植生が順調に回復している		
32		熱海市	上多賀	造	○			3.37	3						3	A					下層植生が順調に回復している		
33		伊豆市	吉奈	造	○			2.66	2			1		1		A					下層植生が順調に回復している		

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体

平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況(整備後3年目の状況)一覧表

No	農林	所在地		整備者区分(※)	整備手法			面積(ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い評価	下層植生の発生遅れに影響を与えている要因の有無				下層植生回復状況(総合判定)	備考	詳細資料ページ			
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	C	B	A				シカ等の獣害	標高	土壌侵食	光環境						
										~10%	10%~20%	20%~40%	40%~60%	60%~80%									80%~		
34	東部	裾野市	茶畑	森	○			14.14	10			2	2	2	4	A					下層植生が順調に回復している				
35		伊東市	湯川	林	○			21.93	10			4	4	1	1	A					下層植生が順調に回復している				
36		伊豆市	冷川	森		○		3.04	3							3	A					下層植生が順調に回復している			
37		伊豆市	地藏堂	森	○			22.98	10			4	3			3	A					下層植生が順調に回復している		1-6	
38		伊豆市	冷川	林		○		1.61	2							2	A					下層植生が順調に回復している			
39		伊豆市	修善寺	林	○			6.50	7						4	3	A					下層植生が順調に回復している			
40		伊豆市	上船原	林	○			17.54	12			5	3	4			A					下層植生が順調に回復している			
41		伊東市	荻	造	○			2.91	3			2	1				A					下層植生が順調に回復している			
42		裾野市	深良	森	○			30.11	10			4	4	2			A					下層植生が順調に回復している		1-7	
43		函南町	田代	林	○			12.86	10					2	5	3	A					下層植生が順調に回復している			
44		熱海市	上多賀	林	○			2.68	3							3	A					下層植生が順調に回復している			
45		裾野市	葛山	林	○			2.62	3			3					A					下層植生が順調に回復している			
46		伊豆の国市	浮橋	林	○			1.85	2						2		A					下層植生が順調に回復している			
47		伊豆市	徳永	森	○			6.37	6			2		1		3	A					下層植生が順調に回復している			
48		沼津市	西浦江梨	森	○			6.93	7			1	1	3	1	1	A					下層植生が順調に回復している			
49		裾野市	茶畑	森	○			3.25	3			1				2	A					下層植生が順調に回復している			
50		伊豆市	大平柿木	林	○			6.70	7			3	3	1			A					下層植生が順調に回復している			
51		伊豆市	湯ヶ島	林			○	0.54	2			1				1	A					下層植生が順調に回復している			
52		伊豆の国市	寺家	林			○	0.92	1							1	A					下層植生が順調に回復している			
53		伊豆の国市	葦山多田	造			○	1.00	1						1		A					下層植生が順調に回復している			
54		伊豆の国市	南條	造			○	0.78	1						1		A					下層植生が順調に回復している			
55		伊豆の国市	北江間	造			○	0.57	1						1		A					下層植生が順調に回復している			
56		伊豆市	大平柿木	林			○	0.15	2			2					A					下層植生が順調に回復している			
57		三島市	沢地	団			○	0.38	1			1					A					下層植生が順調に回復している			
58		富士	富士宮市	粟倉	森		○	1.99	4							4	A					下層植生が順調に回復している			
59			富士宮市	粟倉	森		○	4.16	4								4	A					下層植生が順調に回復している		
60			富士宮市	内房	森		○	4.89	5								5	A					下層植生が順調に回復している		
61	富士宮市		内房	森			○	4.57	5				1	1	3		A					下層植生が順調に回復している		1-8	
62	富士宮市		内房	森	○	○	7.81	8					6	2			A					下層植生が順調に回復している			
63	富士宮市		内房	森	○		7.66	8						1	7		A					下層植生が順調に回復している			
64	富士市		江尾	森	○		3.29	3						2	1		A					下層植生が順調に回復している			
65	富士宮市		粟倉	森	○		4.83	6					1		5		A					下層植生が順調に回復している			
66	富士市		桑崎	森	○		5.66	6			3			1	2		A					下層植生が順調に回復している			

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体

平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況(整備後3年目の状況)一覧表

No	農林	所在地		整備者区分(※)	整備手法			面積(ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い評価	下層植生の発生遅れに影響を与えている要因の有無				下層植生回復状況(総合判定)	備考	詳細資料ページ	
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	C		A				シカ等の獣害	標高	土壌侵食	光環境				
										~10%	10%~20%	20%~40%	40%~60%	60%~80%									80%~
67	富士	富士宮市	内房	林	○			1.00	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
68		富士宮市	山宮	森	○			17.10	11			7	4			A					下層植生が順調に回復している		1-9
69		富士市	北松野	林	○			12.14	11			7	4			A					下層植生が順調に回復している		
70		富士宮市	山宮	森	○			16.64	11				11			A					下層植生が順調に回復している		
71		富士市	桑崎	森		○		0.84	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
72	中部	静岡市	梅ヶ島(新田稲荷)	林		○		1.15	1				1		A					下層植生が順調に回復している	H30.10.1の台風24号で風倒被害が発生.H30森の力に対応	1-10	
73		静岡市	井川(大沢戸)	森		○		1.09	6				3	1	2	A					下層植生が順調に回復している		
74		静岡市	梅ヶ島(大代)	林	○	○		19.16	10		1	5	3	1		A					下層植生が順調に回復している		
75		静岡市	穴原	造		○		1.52	2						2	A					下層植生が順調に回復している		
76		静岡市	檜尾、大間	林	○			24.76	18			15	2	1		A					下層植生が順調に回復している		
77		静岡市	黒俣	林	○			7.20	8		8					B		有	有		今後、下層植生の回復が見込める	植生が全く無い状態から改善している	1-11
78		静岡市	横沢	森	○			4.10	4			2	2			A					下層植生が順調に回復している		
79		静岡市	大間	森	○			33.90	10		2	2	3	3		A					下層植生が順調に回復している		1-12
80		静岡市	八草	森	○			12.90	10		3	3	4			A					下層植生が順調に回復している		
81		静岡市	崩野	森	○			5.68	6		1		2	3		A					下層植生が順調に回復している		
82		静岡市	井川(中山沢)	森		○		8.63	10				1	2	7	A					下層植生が順調に回復している		
83		静岡市	穴原	団		○		14.29	10			3	4	1	2	A					下層植生が順調に回復している		1-13
84		静岡市	崩野	林	○			18.20	10	4	6					B		有			今後、下層植生の回復が見込める	植生が全く無い状態から改善している	1-14
85		静岡市	井川(久保山)	森		○		0.72	2					1	1	A					下層植生が順調に回復している		
86		静岡市	井川(蔵の平)	森		○		1.48	2			2				A					下層植生が順調に回復している		
87		静岡市	井川(矢ノ沢)	森		○		0.71	1			1				A					下層植生が順調に回復している		
88		静岡市	青木	林		○		1.33	2						2	A					下層植生が順調に回復している		
89		静岡市	穴原	団	○			12.77	10			3	4	1	2	A					下層植生が順調に回復している		
90		静岡市	中平	林	○			18.46	14			3	7	3	1	A					下層植生が順調に回復している		
91		静岡市	檜尾1	森	○			16.78	10	4	6					B		有	有		今後、下層植生の回復が見込める		1-15
92		静岡市	井川(立山)	森		○		2.35	2				1	1		A					下層植生が順調に回復している		
93		静岡市	檜尾2	森	○			27.36	10	4	6					B		有	有		今後、下層植生の回復が見込める		1-16
94		静岡市	日向1	森	○			22.82	10		4	3	3			A					下層植生が順調に回復している		
95	静岡市	日向2	森	○			14.28	10		2	1	6	1		A					下層植生が順調に回復している			
96	静岡市	梅ヶ島	林	○			5.60	H19整備地をH27に再整備した箇所のため、H26年度以前分としてNo.193で植生回復状況を										下層植生が順調に回復している					
97	静岡市	興津本町	林		○		0.10	1						1	A					下層植生が順調に回復している		1-17	
98	静岡市	梅ヶ島(夕荷場)	林	○			3.06	3		1	2				A					下層植生が順調に回復している			
99	志太 榛原	島田市	笹間下	森	○		19.05	10			9			1	A					下層植生が順調に回復している			

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体



平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況(整備後3年目の状況)一覧表

No	農林	所在地		整備者区分(※)	整備手法			面積(ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い評価	下層植生の発生遅れに影響を与えている要因の有無				下層植生回復状況(総合判定)	備考	詳細資料ページ		
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	C	B	A				シカ等の獣害	標高	土壌侵食	光環境					
										~10%	10%~20%	20%~40%	40%~60%	60%~80%									80%~	
133	中遠	掛川市	千羽・木割	森	○			11.82	10			1	1		8	A					下層植生が順調に回復している			
134		掛川市	中西之谷	森	○			35.28	10			9	1			A						下層植生が順調に回復している		
135		掛川市	高瀬	造			○	2.11	3						3	A						下層植生が順調に回復している		1-22
136		周智郡森町	一宮	林	○	○		4.81	5			1	1	3		A						下層植生が順調に回復している		
137		周智郡森町	飯田	造			○	1.84	2						2	A						下層植生が順調に回復している		
138		掛川市	上西郷・倉真	造	○			73.92	10				2	6	2	A						下層植生が順調に回復している		1-23
139		掛川市	上垂木	森	○	○		67.45	10			4	4		2	A						下層植生が順調に回復している		1-24
140		周智郡森町	亀久保	森	○			16.50	10			2	3	4	1	A						下層植生が順調に回復している		
141		菊川市	西方公文名	団			○	0.69	1						1	A						下層植生が順調に回復している		
142		菊川市	西方沢田	団			○	1.57	2				1	1		A						下層植生が順調に回復している		
143		菊川市	沢水加	団			○	0.61	1						1	A						下層植生が順調に回復している		
144		袋井市	山田	森	○			2.51	3				1		2	A						下層植生が順調に回復している		
145		菊川市	牛淵	建	○		○	1.84	4				2		2	A						下層植生が順調に回復している		
146		菊川市	西方	建			○	1.00	1						1	A						下層植生が順調に回復している		
147		磐田市	上神増	森	○			2.29	3						3	A						下層植生が順調に回復している		
148		周智郡森町	一宮A	造	○		○	7.23	8			8				A						下層植生が順調に回復している		
149		周智郡森町	一宮B	造	○		○	3.25	5			5				A						下層植生が順調に回復している		
150		西部	浜松市	北区滝沢町	森		○	0.18	1						1	A						下層植生が順調に回復している		
151			浜松市	西区大久保町	森		○	0.66	1							1	A						下層植生が順調に回復している	
152	浜松市		北区滝沢町	森		○	0.12	1							1	A						下層植生が順調に回復している		
153	浜松市		北区滝沢町	森		○	0.41	1						1		A						下層植生が順調に回復している		
154	浜松市		浜北区内野	造			○	1.66	2				2			A						下層植生が順調に回復している		1-25
155	西部(天竜)	浜松市	引佐町別所	森	○		3.61	4					3	1	A						下層植生が順調に回復している			
156		浜松市	引佐町谷沢	造	○		2.45	3				2		1	A							下層植生が順調に回復している		
157		浜松市	水窪町地頭方	森		○	7.62	7				4	3		A							下層植生が順調に回復している		
158		浜松市	水窪町奥領家	森		○	0.54	1						1	A							下層植生が順調に回復している		
159		浜松市	佐久間町大井	森	○		3.03	4			4				A							下層植生が順調に回復している		
160		浜松市	佐久間町上平山	森	○		4.97	5			3	1	1		A							下層植生が順調に回復している		
161		浜松市	引佐町的場	森	○		1.44	1						1	A							下層植生が順調に回復している		
162		浜松市	引佐町三岳	森	○		2.34	2							2	A						下層植生が順調に回復している		
163		浜松市	水窪町奥領家	森		○	0.78	1						1	A							下層植生が順調に回復している		
164		浜松市	引佐町渋川	森	○		1.10	1				1			A							下層植生が順調に回復している		
165		浜松市	引佐町三岳	森	○		2.27	2							2	A						下層植生が順調に回復している		

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体

平成27年度森の力再生事業整備箇所の下層植生回復状況(整備後3年目の状況)一覧表

No	農林	所在地		整備者区分 (※)	整備手法			面積 (ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い 評価	下層植生の発生遅れに 影響を与えている要因の有無				下層植生 回復状況 (総合判定)	備考	詳細資料 ページ	
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	C		A				シカ等 の獣害	標高	土壌 侵食	光環境				
										~10%	10%~20%	20%~40%	40%~60%	60%~80%									80%~
166		浜松市	春野町豊岡	森	○			13.21	10			2	2	5	1	A					下層植生が順調に回復している		
167		浜松市	引佐町渋川	森	○			10.02	10				1	7	2	A					下層植生が順調に回復している		
168		浜松市	引佐町渋川	森	○			1.83	2				1	1		A					下層植生が順調に回復している		
169		浜松市	引佐町渋川	森	○			6.15	6				6			A					下層植生が順調に回復している		
170		浜松市	引佐町渋川	森	○			5.11	5			1	4			A					下層植生が順調に回復している		
171		浜松市	引佐町渋川	森	○			4.18	4				3	1		A					下層植生が順調に回復している		
172		浜松市	龍山町下平山	森	○			23.97	10				7	3		A					下層植生が順調に回復している		1-26
173		浜松市	龍山町下平山	森	○			2.40	3				1	2		A					下層植生が順調に回復している		
174		浜松市	龍山町瀬尻	森	○			2.30	3				1		2	A					下層植生が順調に回復している		
175		浜松市	水窪町奥領家	森	○			25.87	10			4	3	2	1	A					下層植生が順調に回復している		1-27
176		浜松市	引佐町田沢	森	○			12.27	10					7	3	A					下層植生が順調に回復している		
177		浜松市	引佐町別所	森	○			3.53	4				4			A					下層植生が順調に回復している		
178	西部 (天竜)	浜松市	佐久間町上平山	森	○			11.36	10				8	1	1	A					下層植生が順調に回復している		
179		浜松市	引佐町東久留米	造	○			7.98	8			4	4			A					下層植生が順調に回復している		
180		浜松市	龍山町大嶺	森	○			35.36	10			3	4	2	1	A					下層植生が順調に回復している		1-28
181		浜松市	引佐町渋川	森	○			16.35	10				6	3	1	A					下層植生が順調に回復している		
182		浜松市	米沢	林		○		0.47	1						1	A					下層植生が順調に回復している		
183		浜松市	佐久間町大井	森	○			1.63	2			2				A					下層植生が順調に回復している		
184		浜松市	佐久間町大井	森	○			2.42	3			2	1			A					下層植生が順調に回復している		
185		浜松市	熊	森	○			21.81	10			1	2	5	2	A					下層植生が順調に回復している		
186		浜松市	両島	森	○			3.41	4					1	3	A					下層植生が順調に回復している		
187		浜松市	山東	森	○			5.94	6						6	A					下層植生が順調に回復している		
188		浜松市	佐久間町浦川	森	○			9.03	10			8	2			A					下層植生が順調に回復している		
189		浜松市	佐久間町浦川	森	○			8.97	10			2	7	1		A					下層植生が順調に回復している		
190		浜松市	水窪町奥領家	森	○			14.10	10			8	1	1		A					下層植生が順調に回復している		

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体

平成26年度以前の森の力再生事業整備箇所のうち、経過を調査した箇所の状況一覧表

No	農林	所在地		整備者区分 (※)	整備手法			面積 (ha)	調査プロットにおける下層植生が地面を覆う割合						最も多い 評価	下層植生の発生遅れに 影響を与えている要因の有無				下層植生 回復状況 (総合判定)	備考	詳細資料 ページ	
					環境伐	倒木処理	整理伐		プロット数	A						シカ等 の獣害	標高	土壌 侵食	光環境				
										C ~10%	B 10%~20%	A 20%~40% 40%~60% 60%~80% 80%~											
191	東部	伊豆市	持越鳴沢	林	○			10.39	10			10								下層植生が順調に回復している	H26整備（うち3.49haは再整備） 経過観察のため再調査	1-29	
192		伊豆市	持越達原	林	○			6.13	3				3							下層植生が順調に回復している	H26に再整備（2.54ha） 経過観察のため再調査	1-30	
193	中部	静岡市葵区	梅ヶ島	林	○			9.63	6		1	5							下層植生が順調に回復している	H19整備実施、H27再整備 (5.60ha) No.96と同一箇所	1-31		
194		静岡市葵区	梅ヶ島	林	○			5.10	5			5							下層植生が順調に回復している	H24整備 経過観察のため再調査	1-32		
195		静岡市葵区	入島	林	○			13.68	10			10							下層植生が順調に回復している	H24整備 経過観察のため再調査	1-33		
196		静岡市葵区	崩野	林	○			21.01	10		10						有		今後、下層植生の回復が見込める	H24整備 経過観察のため再調査	1-34		
197	志太榛原	川根本町	奥泉倉柱	森	○			4.27	4		1	2	1						下層植生が順調に回復している	H26整備 経過観察のため再調査	1-35		
198		川根本町	下長尾	森	○			1.64	2			2							下層植生が順調に回復している	H26整備 経過観察のため再調査	1-36		

※ 整備者区分 森：森林組合 林：林業事業者 建：建設業者 造：造園業者 団：NPO法人、任意団体、その他団体

静岡県経済産業部長 天野 朗彦 様

静岡県森の力再生事業評価委員会  
委員長 ( 署 名 )

「静岡県もりづくり県民税条例」及び「静岡県森の力再生基金条例」に基づいて静岡県が実施した「森の力再生事業」について検証・評価した結果は、下記のとおりです。

## 記

### 1 新規の事業実施状況

#### (1) 評価対象

平成 29 年度に事業を実施した 145 箇所、面積 1,041ha  
(うち、22 箇所を抽出して詳細に検証)

#### (2) 評価結果

平成 29 年度に実施した事業の執行状況について検証した結果、いずれも適正に執行されており、事業目的にかなう効果が期待できると評価します。

### 2 整備が終わった森林の回復状況等

#### (1) 評価対象

平成 27 年度に事業を実施した 189 箇所、面積 1,533ha  
平成 26 年度以前に事業を実施した箇所のうち、経過を調査した 8 箇所、72ha

#### (2) 評価結果

整備が完了して 3 年目以降の箇所の下層植生の回復状況等について検証した結果、計画どおりの効果が期待できる事業であると判断します。

### 3 来年度の事業の実施に向けての提言

以下の事項に配慮して、事業を執行されるよう提言します。

- (1) 事業の効果が最大限に発揮されるよう、他の関連施策・市町との連携や、民間との協働を進めてください。
- (2) 整備が終わった箇所周辺の森林の権利者にも事業の P R を行うなど、整備が地域に広がるよう努めてください。
- (3) 伐採した木材や竹材の利活用に引き続き努めてください。
- (4) 事例発表会の開催など、事業者間の情報交換の場を作り、事業者全体の技術力向上に努めてください。
- (5) 納税への理解が一層促進されるよう、県民に対し情報発信に取り組むとともに、広報看板については、効果を最大限に発揮できるよう設置方法を検討してください。